

How to take a picture

撮影風景

どのように撮影を行っているのか、五百羅漢の撮影現場に同行してみました！



現場に行って初めてわかる草花や天気を考慮して写真の構図を決めます。

POINT

写りこむと邪魔な枯木や枯草は除去しておきます。



角度やアングルを考え、まずはシャッターを切ります。

POINT

ときにはこんな体勢や寝そべって撮影することもある！



画像をその場で確認して被写体に対して適切な設定を調整します。

POINT

設定の初歩として、まずは露出の調整から！



いい写真が撮れたと思っても満足するまで画像をチェックします。

POINT

日光が当たらないところで色味や明暗などを確認。

こんな写真が撮れました！

次ページで KOMO PHOTO をご紹介！



Photographer 八幡棟大さん (15)

孤野第二区在住。祖父の影響で小学5年生のとき、カメラを手にしてから一番の趣味はカメラに。大人に交じって写真コンテストの入選経験もある将来有望な写真部会のホープ。

Photographer 片出実さん (78)

大羽根園在住。永年、鈴鹿山脈の写真を撮り続け、平成26年には作品をまとめた写真集「心うるおす山便り 鈴鹿山脈の自然」を出版。現在、町芸術文化協会副会長。

MORE TECHNIC



デジタルカメラマガジン編集部

ほとんど構図のみの説明に絞った解説書。人物、風景、物など被写体に対しての構図を解説しています。



朝日新聞出版

毎月、発行されているカメラや写真に関する専門雑誌。毎月異なる綿密な特集や付録が魅力的。



今井しのぶ 著

子どもが生まれると、子どもの写真を上手に撮りたいと誰もが思うもの。初心者でもわかりやすい内容です。



CanCam 編集部

スマートフォンでも応用できる撮影テクニックが盛りだくさん。この本を読めば「映え」間違いなし！

孤野町図書館で借りられる写真の本

本

誰でも気軽にカメラマンに

「普」段の何気ない日常を映し出す「カメラ」。最近では、スマートフォンにも高性能なカメラが付き、いつでもどこでも誰もが気軽にカメラマンになることができます。皆さんは「どうせ撮るなら、都会のおしゃれなカフェや全国的に有名な写真映えする場所を撮影しよう」と思うかもしれません。ですが、案外、見落としがちな場所に撮影スポットは隠れているもの。三滝川を流れる清流、茶畑を刈り取る農家の姿、にっこりとほほ笑む地蔵——孤野町でも、素敵な写真が撮れる場所はたくさんあります。

今回は町芸術文化協会の片出さん、ポイントを紹介しながら、撮影のポイントを紹介します。皆さんもぜひ、カメラやスマートフォンを片手に見慣れた孤野の景色をカメラで切り取って「コモフォト」を撮影してみませんか。

撮影はテクニックだけでなく、写真を見る方に何かを感じてもらえるような作品づくりを心がけることが大切です。

どんな景色ですか？

皆さんの「コモフォト」は

自分だけの「コモフォト」

自分だけの景色に

他では見ることができない

カメラをのぞき込めば

ありふれた日常の景色でも

暮らしの中で毎日目にする

孤野の景色



新型コロナウイルス感染症が拡大したこと、全国に緊急事態宣言が発出され、外出がなかなかしづらい日々が続いた今年の初夏。孤野町も例外ではなく、外を出歩く人も少なくなり、公園で遊ぶ子どもたちの姿もほとんど見かけられなくなりました。そこで今回、外出せずとも町内の景色を楽しめる写真の数々をご用意しました。写真を提供いただいたのは町芸術文化協会写真部会。いつも見慣れた町内の風景でも、写真部会の手にかかれば一味違って見える作品となります。ゴールデンウィークに外出できなかった皆さんの鬱憤を少しでも晴らすことができれば——そんな思いで珠玉の写真の数々をご紹介します。

写真で孤野の風景を楽しむ

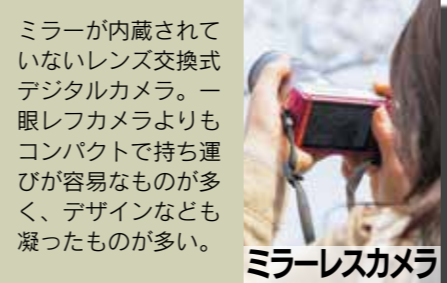
写真部会

町芸術文化協会 約20人の会員が在籍し、それぞれが撮影した写真を定例会に持ち寄り、町のイベントなどで作品を展示しています。平成13年から「広報こもの」表紙写真の撮影にもご協力いただいています。

CHOICE

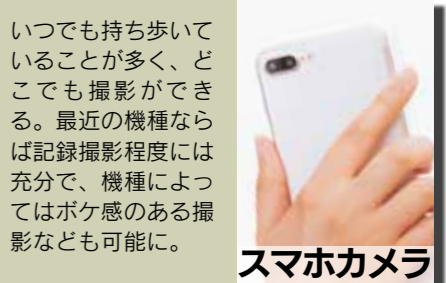
Photo Items

フォトアイテム



ミラーレスカメラ

ミラーが内蔵されていないレンズ交換式デジタルカメラ。一眼レフカメラよりもコンパクトで持ち運びが容易なものが多く、デザインなども凝ったものが多い。



スマホカメラ

いつでも持ち歩いていることが多く、どこでも撮影ができる。最近の機種ならば記録撮影程度には充分で、機種によってはボケ感のある撮影なども可能に。



ストロボ (フラッシュ)

自然光があまり期待できない暗所などでの撮影に有効。光を天井などにバウンドさせて光の強さを調整するなどのテクニックもあります。



一眼レフカメラ

ミラーを内蔵したデジタルカメラで、レンズを通過した光を直接確認して肉眼で見た景色に近い写真を撮影できる。設定の変更やレンズの交換も醍醐味。

三脚

カメラを安定させるために有効な三脚。手ブレや極端なズームを用いる場合、夜景や星などの暗所での撮影には必須です。三脚以外にも一脚などがあります。

